

大企業と福祉事業所連携

大手企業と連携したIT系の新たな取り組み

社会福祉法人ぷろぼの
3R・マテリアルセンター
センター長 田村 昭夫

3R (リサイクル・リユース・ リレーションシップ) + マテリアルとは

3R・マテリアルセンターについて

限りある資源の有効活用、社会貢献、障害をお持ちの方の高付加価値な仕事づくりを同時に実現

3R・マテリアルセンターは、作業を障害のある方の仕事として行う就労継続事業所です。

企業様で廃棄予定となったPCを寄贈いただき再生利活用しています。使用済みOA機器を再活用し社会貢献していく公共性を持ち、障がい者が実務経験を積みながら専門的な技術を習得できる環境を整えています。企業様と協力して環境や福祉、教育に貢献している事業です。

登録人数

A型：1名 B型：14名 (2022年11月現在)

所在地

〒630-8115 奈良県奈良市大宮町3丁目5-39 第3やまと建設ビル202号
TEL/FAX 0742-81-7218



Recycle

人と資源の
再活用



Reuse

人材・製品の
再活用



Relationship

人と人との
結びつき



Materials

様々な素材を使い
創造・開発する

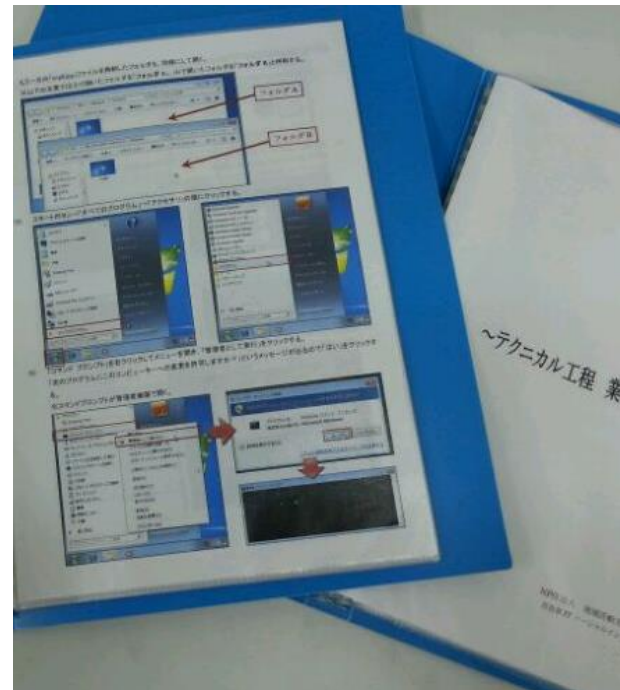
これまでの歩み

2011年
初案件 受託

2013年
3R事業部 開設

2014年
作業導入マニュアル
制作受託

2019年
PDF化委託作業
受託



事業設立背景と課題

B型福祉施設が抱える共通課題

- 仕事量が安定していない（稼働率が悪い）
- B型福祉施設の作業単価が低く、工賃も低い

全国平均工賃 → 15,776円/月
(令和2年度 厚生労働省発表資料)

課題に対して

専門性の高い作業で低い工賃の解決を

- IT関連で専門性の高い作業を行うことで高付加価値（高単価）な仕事を実現

ぷろぼの平均工賃 → 32,371円/月
(令和3年度実績)

課題 仕事量の安定（稼働率UP）について法人単独では難しく、事業展開に苦戦

大阪ガス支配人とオージス社会貢献室と3Rセンターの共通意思による連携

オーガス総研様の社会貢献活動はじまるくん

- 2010年、Daigasグループ（大阪ガスグループ）であるオーガス総研の社会貢献事業として活動開始されました。
- 自治体が取り組む、障害をお持ちの方の工賃倍増プロジェクトに賛同、障害をお持ちの方にリユース可能なパソコンの外観クリーニングをお願いしています。
- 障害をお持ちの方が働く機会の確保に賛同された企業様に、リユースできるパソコンを提供していただくことで実現しています。



オージス総研様との事業連携

● オージス総研様

利用終了PCを再生する仕事で障害をお持ちの方の工賃向上に繋がりたい。



- ・ 障害をお持ちの方に作業を落とし込める担い手を求めていた。
- ・ Daigasグループ各社からPCの安定供給が出来る強みがある。

● 社会福祉法人ぷろぼの

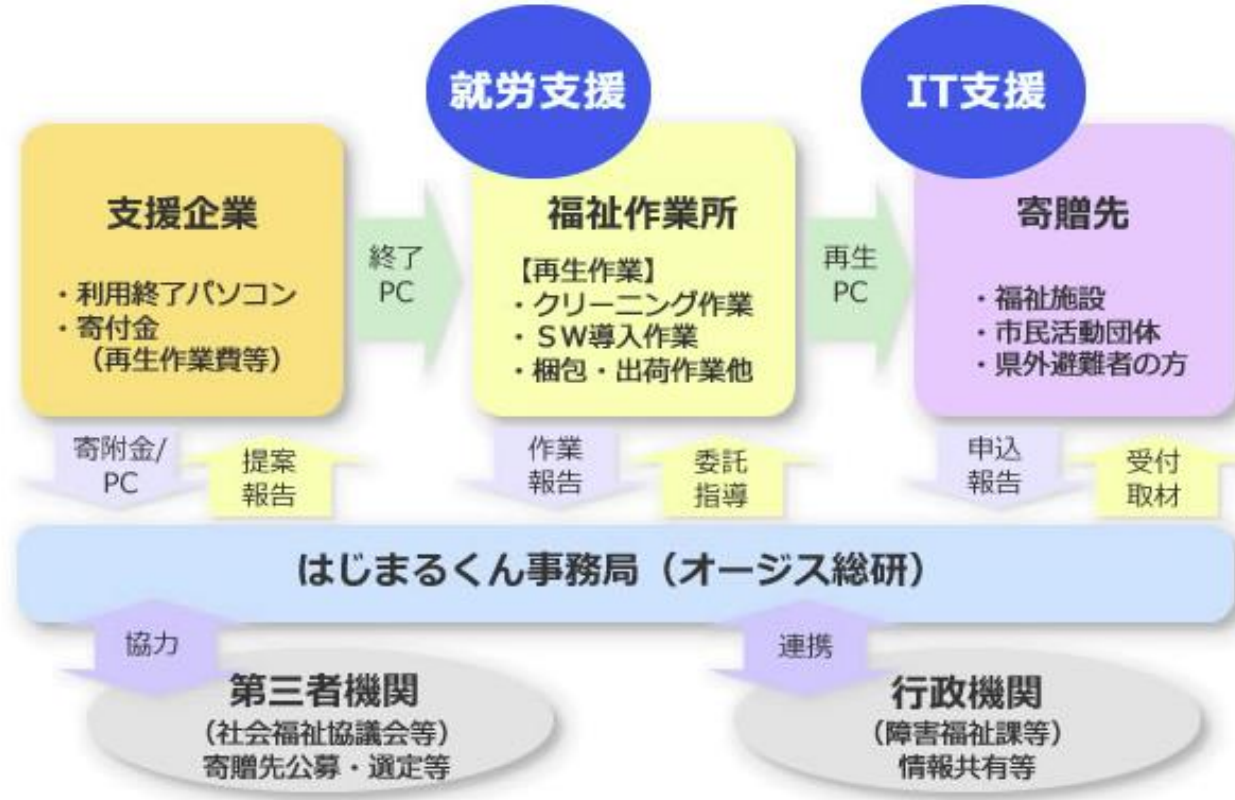
IT関連で高単価な事業を行え、職業スキル向上と工賃向上に繋がりたい。



- ・ 安定した仕事を求めていた。
- ・ IT技術の素地があり、障害をお持ちの方へ作業の落とし込みに強みがある。

2社で求めている事と強みがマッチし事業連携の関係が出来上がった。

はじまるくん事業スキーム



- 利用終了PCを再生・修理し再活用できる。
- 再生作業を福祉施設に委託。福祉施設へ高単価の仕事を創出。
- 再生したPCは被災地域・福祉施設・発展途上国の学校へ寄贈。
- 利用終了PCが社会貢献の輪となって繋がっている。

PCクリーニングの工程説明

一連の流れは全て、障害をお持ちの方の方々だけで業務を完遂しています。必要に応じて治具を使った作業支援や工程内で再分業化して1人の作業負荷低減と、作業効率を向上を図っています。

1

搬入工程

作業内容

シリアル番号・付属品・外装の状況などをデータベースへ記録。

ポイント

手入力を行わず、バーコードや画像入力を採用。文字が苦手でも作業が出来る。

2

テクニカル工程

作業内容

動作テスト・データ削除・OS導入。検査ソフトを使用。

ポイント

マニュアルは画像中心で文字が苦手でも理解しやすく整備。検査ツールは実行キーを押すだけで結果が自動出力される。

3

クリーニング工程

作業内容

専用の洗剤や道具で、本体内の粉塵や汚れを取り除く。

ポイント

自動化ができない手作業。作業力が問われる反面、手作業が得意な方が黙々と行える作業。

4

出荷工程

作業内容

ライセンス管理付与・梱包・集荷。

ポイント

データベースから出力したラベルを再生PCに貼付けし、梱包作業、配送業者へ集荷連絡。業務はルーティン化されている。

大企業と福祉の連携で実現する社会貢献



13年間、持続しながら発展途上国の学校へ再生PCを寄贈や、ロボット事業など発展も遂げてくることが出来ました。

3R・マテリアルセンター最大の成果は、訓練で通所されていた方1名を正職員として雇用した事です。

ご清聴有難う御座いました。

